

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]
(平成23年11月解析分)

1 疾患別定点情報

(1) 定点把握(週報)五類感染症

平成23年10月分(平成23年10月3日～平成23年10月30日:4週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	21	0.05	2.25	↑	10	百日咳	40	0.14	0.07	↗
2	RSウイルス感染症	252	0.89	0.32	↗	11	ヘルパンギーナ	49	0.17	0.14	↓
3	咽頭結膜熱	78	0.28	0.33	↘	12	流行性耳下腺炎	194	0.69	0.59	→
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	266	0.94	0.73	→	13	急性出血性結膜炎	1	0.01	0.00	
5	感染性胃腸炎	813	2.88	4.37	↘	14	流行性角結膜炎	79	1.04	0.91	↘
6	水痘	291	1.03	0.64	↗	15	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.01	
7	手足口病	513	1.82	0.20	↓	16	無菌性髄膜炎	2	0.02	0.05	
8	伝染性紅斑	76	0.27	0.09	↘	17	マイコプラズマ肺炎	42	0.50	0.24	→
9	突発性発しん	126	0.45	0.56	↘	18	クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	

(2) 定点把握(月報)五類感染症

平成23年10月分(10月1日～10月31日)

No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号
19	性器クラミジア感染症	69	3.00	2.57	↗	23	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	157	7.48	5.81	↗
20	性器ヘルペスウイルス感染症	6	0.26	0.92		24	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	22	1.05	1.40	↗
21	尖圭コンジローマ	14	0.61	0.61	↗	25	薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0.00	—	
22	淋菌感染症	21	0.91	1.38	↘	26	薬剤耐性緑膿菌感染症	1	0.05	0.23	

※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当り)

※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。

※ 薬剤耐性アシネトバクター感染症は、平成23年2月1日から届出対象となったため、過去5年平均データはありません。

急増減疾患!!(前月比2倍以上増減)

- 急増疾患 インフルエンザ(1件→21件)
- 急減疾患 手足口病(1,343件→513件)
- ヘルパンギーナ(359件→49件)

発生記号(前月と比較)

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増減	↗	↘	1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象18疾患,月報対象8疾患)について、県内178(今月は177)の定点医療機関からの報告を集計し、作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1	1～12	13, 14	19～22	15～18, 23～26	
定点数	43	71	19	23	21	177

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	49	結核(49)〔西部保健所(8), 西部東保健所(5), 東部保健所(5), 北部保健所(1), 広島市保健所(22), 呉市保健所(5), 福山市保健所(3)〕
三類	8	細菌性赤痢(2)〔広島市保健所, 福山市保健所〕, 腸管出血性大腸菌感染症(5) O157(4)〔広島市保健所(1), 福山市保健所(3)〕, O26(1)〔広島市保健所〕, 腸チフス(1)〔西部保健所〕
四類	5	オウム病(1)〔広島市保健所〕, つつが虫病(1)〔広島市保健所〕, 日本紅斑熱(3)〔東部保健所(2), 福山市保健所(1)〕
五類全数	4	ウイルス性肝炎(1) B型(1)〔呉市保健所〕, 急性脳炎(1)〔広島市保健所〕, 劇症型溶血性レンサ球菌感染症(1)〔北部保健所〕, 後天性免疫不全症候群(1)〔広島市保健所〕

3 一般情報

(1) 水痘警報の発令について

水痘は、「みずぼうそう」とも呼ばれ、感染力が強い急性の感染症ですが、広島県感染症発生動向調査による平成23年第44週(10月31日～11月6日)の定点医療機関からの水痘の患者報告数が、北部保健所管内(三次市, 庄原市)で定点当たり10.0となり、警報の基準である7.0以上となりました。

このため、県では、水痘の流行が拡大する可能性があるため、**平成23年11月10日に「水痘(みずぼうそう)警報」を発令しました。**

病原体	水痘・帯状疱疹ウイルス
症状	潜伏期間は2週間程度といわれ、子どもでは通常発疹が初発症状で、成人では発疹が出る1日～2日前に発熱と全身倦怠感を伴うことがあります。発疹は全身性で“かゆみ”を伴い、紅斑、丘疹(発疹が隆起した状態)を経て、短時間で水疱となり、その後“かさぶた”となります。 一般的には、倦怠感、かゆみ、38度前後の発熱が2日～3日間続く程度であることが大半ですが、成人では、子どもに比べて重症化しやすく、合併症の頻度も高くなります。
感染経路	接触感染、飛沫感染あるいは空気感染により感染します。
予防方法等	<ul style="list-style-type: none"> 発疹や発熱などの症状がみられた場合は、なるべく早く医療機関を受診しましょう。 ※ 学校保健安全法では、すべての発疹が痂皮化するまで出席停止となります。 最も効果的な予防方法は、予防接種(任意接種)となります。 また、水痘患者と接触後、72時間以内にワクチンを接種すれば、水痘の発症を免れたり、症状が軽くなったりする効果があるといわれています。

※ なお、最新の発生状況等については、次のホームページをご覧ください。

○ 「水痘(みずぼうそう)の警報発令について」

<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/page/1320139552261/index.html>

(2) 「レドリボンキャンペーンin広島」の開催について

エイズのまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見をなくすことを目的に、12月1日の「世界エイズデー」に併せてエイズに関する正しい知識の普及啓発を行うため、次のとおり「レドリボンキャンペーンin広島」を開催します。

日時 平成23年12月10日(土) 13時～18時

場所 アリスガーデン(広島市中区 西新天地公共広場)

内容 ●エイズ啓発パンフレット等の配布, パネルの展示

●エイズ検査(無料・匿名・迅速検査)の実施(14時～18時)

●広島東洋カープの選手とスライリーのステージ, インディーズミュージシャンの演奏 など

なお、この会場以外にも、県内では世界エイズデーに併せたイベントや無料・匿名検査が行われます。詳しくはこちらのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/page/1321598602498/index.html>

12月1日は世界エイズデーです。 エイズとわたし ～支えることと 防ぐこと～

(3) 手洗い・咳エチケットでインフルエンザを防ぎましょう!

広島県感染症発生動向調査による定点医療機関からのインフルエンザ患者の報告数が、9月の1件から10月には21件と急増しました。また、10月24日には県内で初めてのインフルエンザ様疾患による学年閉鎖の報告があり、インフルエンザの本格的なシーズンが近づいてきたことから、手洗い等の感染予防対策の励行及び流行前の早めの予防接種をお勧めします。